

VOL. **111**
2023.12 月号

青少年問題シリーズ

充実した冬休みに



『みんなで楽しくスラックライン』
～こどもの城プレーパーク～



川越市少年指導センター

川越市役所 こども育成課内



じゅうじつ ふゆ やす
充実した冬休みに



もうすぐ楽しみにしている冬休みがやってきます。

冬休みは、クリスマス、大掃除と大晦日、お正月と

初詣など、家族一緒に過ごす機会が多くなります。我が家の

年末・年始の過ごし方を工夫し、家族の絆を深めましょう。

(下のチェックリストに、できたものをチェック☑しましょう。)



1 **冬休みの目標と計画を立て、実行しましょう！**

二学期を振り返り、具体的な内容で、こつこつ着実に取り組みましょう。



2 **心身ともに鍛え、健康な毎を送りましょう！**

早寝・早起き・朝ごはんの習慣を続けましょう。

バランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。

ゲームやスマホなど、親と相談しルールを決めましょう。

自転車などの交通事故や不審者に気をつけましょう。

適度な運動をし、手洗い・うがいを心がけましょう。



3 **進んで学習に取り組みましょう！**

毎日の学習時間を決め、「二学期の復習」や「冬休みの課題」、そして「自主学習」に取り組みましょう。

読書の習慣を身につけましょう。



4 **家庭や地域でのふれあいを大切にしましょう！**

家族の一員として、家事を分担し手伝いましょう。

家族で語り合う時間を大切にしましょう。

年末・年始の地域の伝統行事や文化に親しみましょう。








こ たち しゃかいせい はぐく 子ども達の社会性を育みましょう！

社会性とは、集団の一員として社会的に好ましい資質、態度、能力を言います。子ども達は**大勢で遊ぶ**、友人と語り合う、他人と協力し合うといった**多様な人間関係**の中で、社会性を身に付けていきます。

子ども達の社会性を育むために、下記の項目を参考にしながら、親子で話し合ってみましょう。

社会性を育むために大切なこと

【できていれば□にレ点】

<p>①基本的な生活習慣</p> 	<p>◎人間として自ら自立していく基本になることです。</p> <p><input type="checkbox"/>衣食の基本や整理整頓などが自分の手でできていますか</p> <p><input type="checkbox"/>自らの目標をもって計画的に生活していますか</p> <p><input type="checkbox"/>状況に合わせたあいさつや礼儀作法を身に付けていますか</p>
<p>②対人関係の在り方</p> 	<p>◎社会生活を営むうえでは、豊かな人間関係を築くことが大切です。人と関わる基本は、他者との信頼の感情をどのように築いていくかです。</p> <p><input type="checkbox"/>自分の気持ちや考えを適切に伝えようとしていますか</p> <p><input type="checkbox"/>友だちに対して思いやりを持って接していますか</p>
<p>③集団活動の体験</p> 	<p>◎子どもは社会性を獲得していく過程で、多様な集団や組織と関わり、その体験・事実の中からその筋道を習得します。</p> <p><input type="checkbox"/>集団に参加する喜びを持ち、責任をもって役割を果たそうとしていますか</p> <p><input type="checkbox"/>集団の中で自己のよさを発揮しようとしていますか</p>
<p>④規範意識の獲得</p> 	<p>◎集団や社会の中でマナーやモラル、ルールを守ることです。</p> <p><input type="checkbox"/>集団や社会の中で、多くの人が生活するうえで必要な「社会規範」を、意識して積極的に受け入れていますか</p> <p><input type="checkbox"/>日常生活の様々な場面で、自分を適切にコントロールすることができますか</p>
<p>⑤社会生活の体験</p> 	<p>◎学校生活は、一つの社会生活を模範的に学ぶ場でもあり、学年の発達に応じて社会の一員としての自覚がもてるようになることです。</p> <p><input type="checkbox"/>地域行事への参加、ボランティア活動、職場体験などを通して、社会の中で生きている実感を味わい、社会参加や社会貢献への喜びを体験しようとしていますか</p>

【参考資料：児童生徒の社会性を育むための生徒指導プログラムの開発（国立教育政策研究所）】

～ 親子で一緒にお読みください ～

【掃除を通して心を磨きましょう！】

埼玉県出身の詩人宮澤章二氏の「ぞうきんのうた」を紹介します。

水洗いされた ぞうきんは あちらこちらのよごれを
 ふき取り ふき取り 自分は いつも まっ黒になる
 相手の よごれを 自分のよごれにすることで 清め
 冷たい水で洗われつづけ 自分は ぼろぼろになってゆく
 ぞうきんの痛みが指さきに伝わる 冬 小春日の暖かさがとてもうれしい 冬
 ぼろぼろの姿で干されても 日ざしにかわく ぞうきんの顔は
 なぜか満ち足りて ほっかりとして 小鳥のような体温が 柔らかい
 (ぞうきんの気持ちになって親子で話し合ってみましょう)



掃除は日本の文化と言われ、昔は、はたき、ほうき、雑巾が三種の神器(じんぎ)として、年末の大掃除など家族みんなで取り組んだものですが、今は住宅様式の変化等もあり、そのような機会が少なくなっているのが残念です。

昨年、カタールで開催されたサッカーワールドカップでは、試合後にスタンドの日本人サポーターがゴミ拾いを行い、日本人選手がロッカールームをピカピカにして去ったことが世界中で話題になりました。

児童生徒の皆さんの学校でも、黙々清掃や無言清掃に全校で取り組んでいると思います。誰かに見られているから真面目にやろうとか、誰も見ていないからさぼろうとか、そんなふうには思っていないですか。誰からも褒められるわけでも、注目されるわけでもありませんが、いつも一生懸命に、黙々と、掃除に取り組む姿勢が大切です。本当の人間の底力というものは、こうした実践を積み重ねて身に付いていくものなのです。

実際私たちは、いつも目にするものに、自分の心も似てくると言われています。ゴミが落ちていたり、汚れていると心がざわざわして落ち着かないものです。掃除をしてきれいになれば、気持ちが落ち着いてきます。気持ちが落ち着くと周囲のことがよく見えるようになります。いろいろな人と優しく接することができるようになり、他の人の心まで気持ち良くすることができるのです。実は床を磨くということは、自分の心を磨くことにつながっています。ご家庭でも大掃除に家族全員で心の汗を流してみたいかがですか。

青少年悩みごと相談

不安なとき・困ったとき

ひとりで悩まずご相談ください。秘密は守ります。

川越市役所こども育成課内 「少年指導センター」へ

049-224-5724 (直通)

- ▶ 友達のこと、学校のこと、家族のこと、心や身体のこと…。
 悩みごとや心配ごとのある方、保護者の皆様、お気軽にお電話ください。
 相談時間 火・水・木曜日(祝・休日、年末年始を除く)
 午前10時～午後5時(受付は午後4時30分まで)

- ▶ メール相談も受け付けています。

川越市 青少年悩みごと相談

検索



スマートフォンはこちらから